



くりしま

《本園の教育目標》

- 仲良くできる子ども
- 元気な子ども
- 心の豊かな子ども
- 努力する子ども
- 体を鍛える子ども

《栗島幼稚園ホームページ》

栗島幼稚園

検索



『 する子を育てる ～今の世に求められる教育・保育～ 』

園長 矢田 泰久

春はあけぼの。明日は例年より1日早い2月2日が節分です。明治30年(1897)以来124年ぶりの珍しい年になります。国立天文台暦計算室によりますと、暦のずれの影響で今年の立春が2月3日となるため、節分が2月2日になったそうです。

余談ですが、来年の節分は2月3日に戻るとのことです。しかし、2025年から4年ごとに再び2月2日になり、2057年と2058年は2年連続で2月2日になるなど、今世紀の末にかけて2月2日になる頻度が高まる傾向にあるようです。その頃、園児たちは立派な大人です。

園では明日豆まきを行います。季節の変わり目に起こりがちな病気や災害、今はコロナウイルス、禍の邪気を鬼に見立て追い払います。伝統行事を知るとともに、楽しいひと時にしたいのですが、必ず鬼に怖がる園児も出ます。ほどほどの鬼退治になることでしょう。



さて、先月22日のおゆうぎ会をご覧になっていかが感想をもたれたでしょうか。たくさんの想いをお持ちとは存じますが、園としては、この行事が子どもたちの豊かな感性と表現をはぐくむよき機会、体験の場になるよう取り組んでまいりました。子どもたち一人一人が演目(題材)を通して、その特徴や表現の仕方などに気付き、感じたことや考えたことを自分なりに表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりすることができていれば、成功裏に終わられたと思っています。

園長としては、子どもたち一人一人が表現することの素晴らしさに触れ、その準備の過程や当日の演技の様子をみて、とても成長できたと思っています。もちろん、子どもたちは当初、先生の動きや指示を真似、模倣することに精一杯でしたが、練習を積み重ねるごとに慣れ、最後には一人一人が自分なりの表現で演じました。保護者の皆様には行事のご理解とともに、衣装やお手伝いなどにご協力をいただき誠にありがとうございました。

年少組 初めての幼稚園生活、緊張のおゆうぎ会



<ちゅうりつぷ 「もりもりロックンロール」・「いちご」>



<たんぽぽ 「パンぱんだ」・「Go!Go!サーフィン」>

鬼は外、福は内。病や災いから
みんなが守られますように!



年中組 慣れた幼稚園、元気いっぱい！力いっぱい！



<すみれ「まったなんてなし！」・「360°」>



<うめ「きた！きた！特急！！」・「ムーンライト伝説」>

年長組 楽しい幼稚園、幼児期の集大成



<習字の井上先生と一緒に>



photo.jp - 5075562

<ひまわり 舞踊劇「ももたろう」>

<もも 舞踊劇「こびとのくつや」>

ところで今、教育・保育において求められていることは、変化の激しい時代にたくましく生き抜ける力（認知・非認知能力）の育成です。そのために、担う教育者はもちろんのこと、保護者の皆様もとりわけ幼児期には「できること」より「すること」を重視する教育的見方が大切と考えています。そして、子どもが主体的に自発的に考え動くよう、その意欲を引き出すには、たくさんの体験を仲間と一緒に積み重ねることが肝心です。

幼児期に育てたい具体的な姿の一つに「豊かな感性と表現」があります。例えば、5歳後半頃の子どもは、共通の目的に向かって、友だちといっしょに考えながらアイデアを出し合い、工夫して表現することを一層楽しむようになります。そのような点から、この度のおゆうぎ会はいかがだったでしょうか。幼児のみずみずしい感性を引き出し、美しいものに触れ、心を動かす出来事になったと思っています。

結びに、コロナ禍ではありますが、子どもたち一人一人がこれからも日々の遊びや生活の中で、一層感じたことや考えたことを楽しんだり、思いのままに描いたり、つくったり、演じたりすることができるよう、職員一丸となって、アイデアが生み出しやすい環境を整えてまいります。引き続き保護者・地域関係者の皆様には本園へのご理解とご協力をお願い申し上げます。



<今年最後の自転車、上手になりました>

- 【2月の主な行事】** 2月2日（火） 豆まき（節分）
- 6日（土） 一日入園（在園児休園）
 - 14日（日） 第66回創立記念日
 - 15日（月） 年中ピアコ・年長たのしいコンサート
 - 17日（水） 年長組懇談会（午前保育）
 - 24日（水） 年少組懇談会（午前保育）
 - 25日（木） 年長お別れ遠足中止（代替予定）